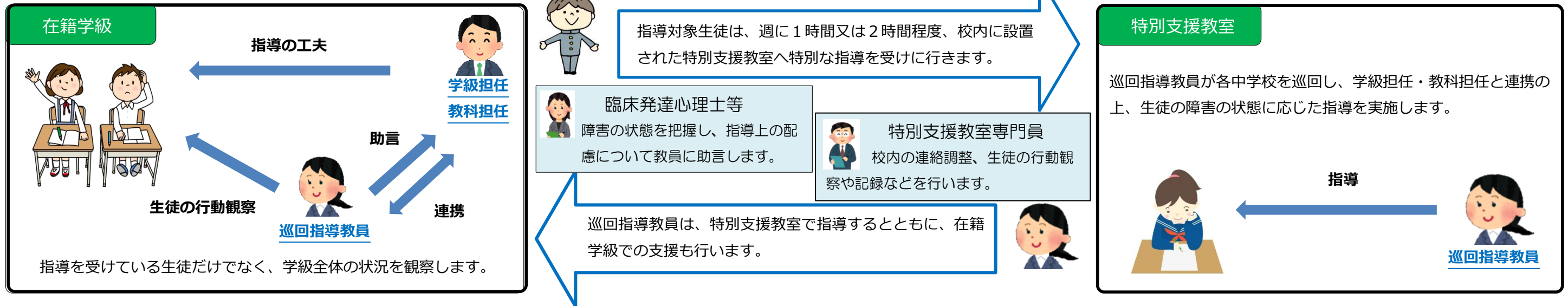


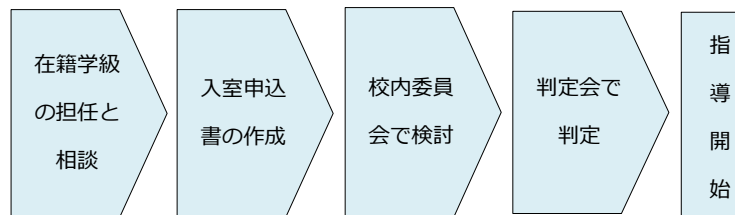
中学校における特別支援教室での指導・支援

本市では、全ての公立中学校に「特別支援教室」を設置し、各中学校で障害の状態に応じた特別な指導が受けられます。

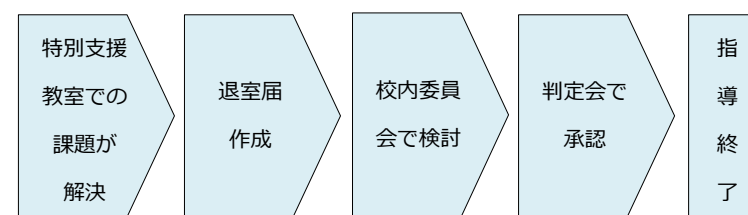
◆中学校の指導・支援体制（例）



～ 指導開始まで ～



～ 指導終了まで ～



< 入退室について >

- まずは、在籍学級の担任に相談してください。
- 退室しても、再入室することが可能です。
- 本人の学習をより充実させるために、入室前に発達検査を勧めています。

特別支援教室で行う指導とは…

通常の学級に在籍する知的障害のない発達障害等（自閉症、情緒障害、注意欠陥多動性障害、学習障害）で、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒に対し、障害の状態に応じて「自立活動」の指導を行うものです。

	自閉症、情緒障害	注意欠陥多動性障害（ADHD）	学習障害（LD）
学習場面で現れる課題【例】	<ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニケーションがうまく図れない。 ◆相手の立場になって考えることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆注意を集中し続けることが難しい。 ◆授業中に席を離れてしまったり、質問が終わらないうちに出し抜けて答えてしまったり、他の人がしていることを邪魔したりしてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆音読が苦手である。 ◆書くことが苦手である。 ◆計算が苦手である。
指導事例	<ul style="list-style-type: none"> ◆ロールプレイ等で、適切な会話ができるようになるための指導 ◆物語の登場人物の気持ちを考えるなどの指導 	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要な情報を少なくし、いくつかの情報の中から必要なものに注目できるようになるための指導 ◆順番に人の話を聞くなど、ルールに従って行動できるようになるための指導 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分に合った学習方法を習得し、その方法を取り入れて、在籍学級での学習を円滑にできるようになるための指導
中学校段階での課題への対応【例】	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期考査に向けて、出題の範囲を確認したり、自分のペースに合わせた学習のスケジュールを組んだりして、学習への見通しをもてるようになるための指導 ◆自尊感情・自己肯定感を高めるとともに、将来の進路選択・進路決定に向けた自己理解や具体的な進路情報の収集等に関する個別指導 ◆部活動等、授業以外の活動場面や地域等での人間関係の形成に関する指導 		